

【特別展】

叙情の
詩歌

脇田 和 回顧展

(展示室2・3)



「怒」1966年 福岡県立美術館蔵



「鳥に話す」1953年 高崎市美術館蔵

■講演会

4月25日(日) 午後2時～3時30分
当館2階 絵画学習室 定員80名
共立女子大学教授・美術評論家
木島俊介氏
「鳥のくる庭・脇田和の世界」

■解説会

毎週土曜日 午後2時～
(当館学芸員のスライドによる作品解説)

'99年4月3日(土) - 6月6日(日)

神戸市立小磯記念美術館

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中5-7 TEL.078-857-5880

【同時開催】

(展示室1)

収蔵作品展Ⅰ

小磯良平の作品を展示します。

開館時間/午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日/毎週月曜日(5月3日は開館)、5月6日

主催/神戸市立小磯記念美術館

読売新聞大阪本社・読売テレビ

協力/脇田美術館

交通/JR住吉駅・阪神魚崎駅のりかえ六甲ライナー

「アイランド北口駅」下車すぐ(六甲アイランド公園内)

入館料/

	一般	高校・大学生	小学・中学生
当日	800	550	300
前売	700	450	200
団体	600	400	150

※団体は30名以上、前売はフリーゲイトなどで発売。

【特別展】

叙情の
詩歌

脇田 和 回顧展



〔静物〕1929年 個人蔵



〔海潮〕1952年 福岡市美術館蔵



〔あらしの〕1955年 新潟県立近代美術館蔵

東京に生まれた脇田和(1908～)は、1923(大正12)年、神戸からマルセイユを経てドイツに渡り、1925(大正14)年よりベルリン国立美術学校に学びます。そして1930(昭和5)年に同校を優秀な成績で卒業し、シベリア経由で帰国の途につきます。1936(昭和11)年、純粋芸術の確立を目指して、小磯良平、猪熊弦一郎、中西利雄らと共に新制作派協会(現・新制作協会)を創立し、現在に至るまで同

会展への出品を精力的に続けています。

鳥や子供を主たるモチーフにして描かれた脇田作品には、情感豊かな内的世界が広がり、多くの人々の共感を呼んでいます。今回の企画は、平成10年度の文化功労者に選ばれた脇田和の、学生時代から近年までの作品約95点を展覧し、70年余に及ぶその輝かしい画業をふり返る試みです。



〔二人〕1942年 脇田美術館蔵



〔鳥居せ〕1954年 富山県立近代美術館蔵



〔静物〕1985年 脇田美術館蔵



※公園の地下には中央駐車場(有料)が設置されています。

■次回展覧会のお知らせ(予定)

「収蔵作品展Ⅱ-素描コレクション選」
6/17(木)-8/1(日)

本館のコレクションを展示する「収蔵作品展」、今回は小磯作品の骨格とも言えるデッサンの魅力をご紹介します。現在約170点となった館蔵素描作品の中から約80点を選び、展示室1・2にて展覧するとともに、展示室3では油彩作品を展示します。